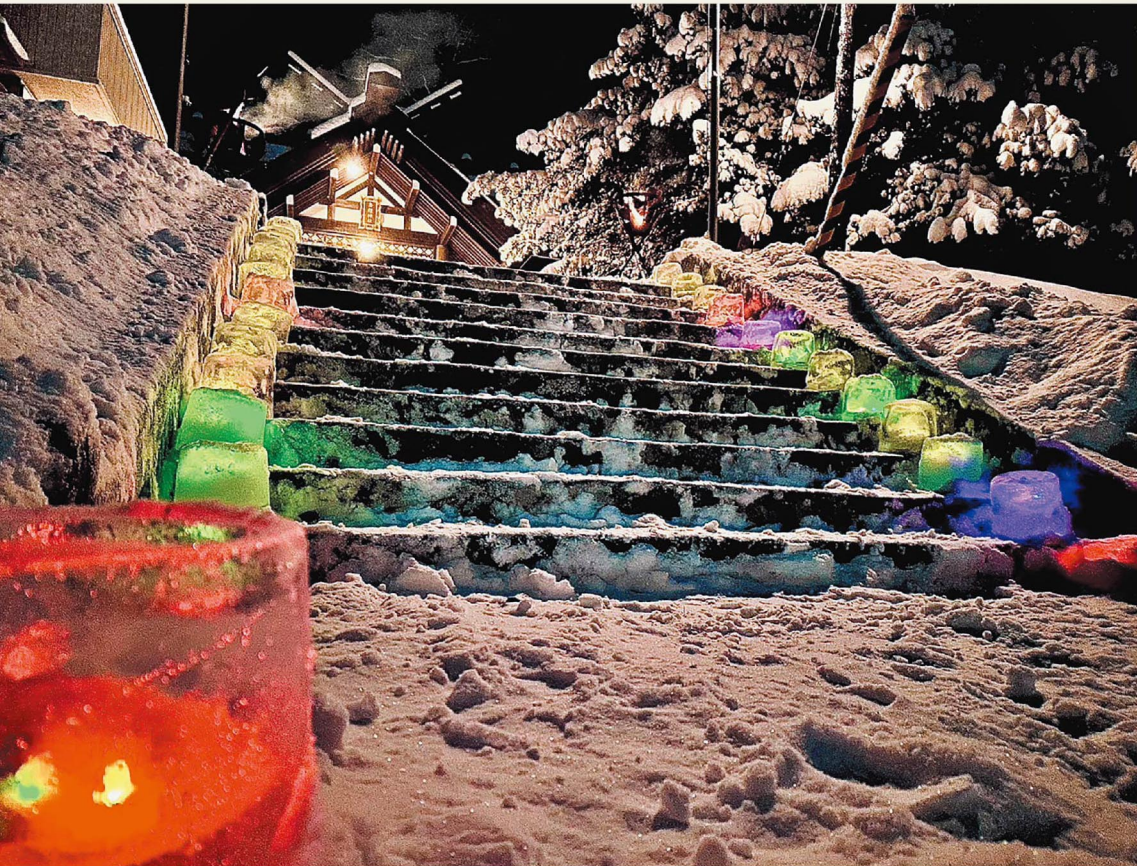


I Love Churui

# I ♥ ちゅるい

# 2・3

2024 Vol. 553



大晦日には参拝者へのホットミルクの無料配布も実施しました。

忠類農協青年部の年末イベントとして忠類神社参道にアイスクンドルの製氷・設置を行いました。



## Contents

役員視察研修	2
酪農女性研修会開催	
酪農部会 飲食店へ牛乳の提供を実施	4
青年部 管外視察研修の実施	5
幕別、冬の陣の開催	
青年部・若手職員との交流会開催	6
ゆり根耕作組合 視察研修	7
ピックアップ農協職員	8
LINEのグループトークを悪用した投資詐欺にかかる注意喚起	9
第12～14回理事会	10～11
令和5営農年度12月末クミカン実績 (JA 総計)	12～13
普及所センター技術情報	14
生乳生産状況表 (2月末)	15



<http://www.ja-churui.com>



# 役員視察研修報告 後編

令和5年11月20日から23日まで  
の間、役員視察研修を実施しまし  
たので、ご報告いたします。

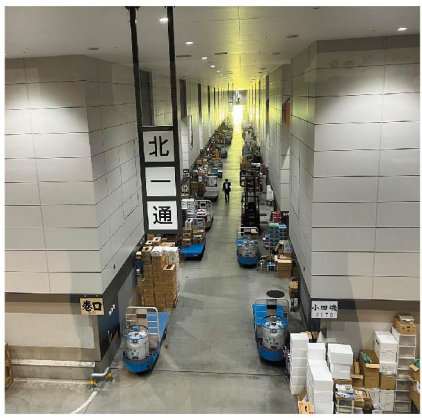
## 研修先③ 『豊洲市場・東京シテイ青果(株)』

所在地	東京都江東区豊洲6丁目3番地1号
設立	平成14年10月1日
従業員	206名
出資金	4億円
売上高	858億円(2020年度)
沿革	1935年(昭和10年)2月 築地市場が開場。東京中央青果(株)創立 1947年(昭和22年)5月 東京築地青果(株)創立 2002年(平成14年)10月 東京中央青果(株)と東京築地青果(株)の事業統合 東京シテイ青果(株)創立

平成30年に築地市場の代替施設  
として豊洲市場が開設され、50年  
先まで見据えた首都圏の基幹市場  
として、生鮮食料品流通の円滑化  
と価格の安定、食の安全・安心の  
確保、効率的な物流の実現など、  
産地や顧客・消費者の様々なニ  
ーズに対応した市場として再出発。  
さらに、環境に配慮した先進的な  
市場とするともに、築地市場の  
築いてきた歴史と伝統を継承・発



展させていくことで、豊洲市場の  
魅力Ⅱブランド力を高めていくこ  
とを目指しているとのことでした。  
施設内は年間を通して定温管  
理、エリアごとに24時間空調稼働  
で品質を管理しており、商品の鮮  
度、品質をこれまでより長く保持  
することができるとのことです。ま  
た、施設は全館閉鎖型になってお  
り、台風や暴風雨による卸売場へ  
の風雨の吹込みや直射日光による  
商品への影響がなく、館内全てが  
常に20℃前後に保たれていると



のことでした。青果卸売場にある  
「フレッシュ・ラボ」はプロ仕様  
の厨房設備を備え、季節の青果物  
や売り込みたい商品を、仲卸や買  
参人、バイヤーに向けて試食宣伝  
をする施設も完備されていました。  
一方、コロナ禍で需要が伸び  
悩んだ時期をチャンスと捉え、H  
A C C P対応の高度な衛生管理が  
行われた他多種の機器によって  
様々な「豊洲ブランド」のオリジ  
ナル商品の開発や、新たな販売  
ルートの開拓としてネットでの販  
売を始めたことが大きな転換点・  
上昇機運のスタートとなったとの  
ことです。東京シテイ青果には、  
当JAから「ゆり根」や「カキユ  
リ」、「馬鈴薯」などを取り扱  
いがあります、特に「カキユリ」

## 研修先④ 『柏木商事』

所在地	東京都豊島区千早4丁目24-1
設立	昭和27年5月1日
従業員	99名
出資金	1,000千円
売上高	83億円(2023年度)
販売先	業務用問屋・都内及び三多摩地区 小中学校給食センター・ペーカリー店ほか
営業所	板橋営業所・立川営業所

当JAとの取引は、先代社長が  
戦時中の援農隊として勤労奉仕の  
為、忠類(芹澤昭一氏宅)に滞在  
していた頃まで遡り、戦後復帰・  
会社設立をしたのちに、当時馬鈴  
薯組合の組合長芹澤氏より忠類産  
澱粉の取扱いを依頼されたのを  
きっかけとして現在まで至ってい

るとのことでした。南工連産澱粉については、学校給食には大変向いており納入先からも高い評価を得ていることから、今後においても継続的に取扱いたい旨の打診を受けました。一方で、在庫の確保を含めた安定供給を強く求められました。価格については、社会情勢等もあり変動することはやむを得ず、適正に転嫁して行く方向で対応可能と判断しています。しかしながら、当該澱粉は基本的に代替対応が許されない業態・商品（納入要件は基本変えられない）につき、ホクレンとも連携のうえ、発注数に応じた商品の確保と納入に協力していただきたいとの



所在地	東京都千代田区神田駿河台2-1-20 お茶の水ユニオンビル5階
目的	酪農乳業関係者が一体になって、生乳及び牛乳乳製品の生産・流通の安定並びに牛乳乳製品の消費の維持拡大を図り、もって国民の健康の増進及び食生活の向上並びに我が国の酪農及び乳業の発展に寄与すること。
事業	生乳及び牛乳乳製品の需給の安定に関する事項 生乳及び牛乳乳製品の安全安心の確保に関する事項

研修先⑤  
「一般社団法人Jミルク」

ことでした。今後は、担当者間での連絡を密に行い、円滑な需給維持に向けた連携を促進することで確認されました。

Jミルクは、日本のミルクサプライチェーンを構成する、酪農生産者・乳業者・牛乳販売店が一体となった業界横断的な組織です。酪農乳業が、国産牛乳乳製品の安定的な供給を通して、国民の健康と豊かな食生活に寄与し、生活者との強固な信頼関係を築くには「ミルクサプライチェーンを構成する関係者が互恵的・安定的な関係を保つこと」が不可欠であり、Jミルクはこれを実現するため、酪農乳業関係者やミルクインフルエンサーに対して、酪農乳業の共通課題の解決及び牛乳乳製品の価値向上につながる情報を提供しています。当日は、昨今の乳用雌牛頭数の推移や今後の生産調整の見通し、脱脂粉乳やバター需給調整などについて積極的な意見交換を行いました。バターについては、国内旅行者・インバウンドが増加しており、業務用を中心に需要は堅調に推移しているが、一部の需要者には夏季の一次的な生乳需給のひっ迫感から、需要期である冬季に向けて通常以上に在庫を積み増す動きが見られているとのこと

でした。また、脱脂粉乳については、適正在庫が2〜3カ月分とされるなか、現状は7カ月分以上の在庫となっています。生産者団体や乳業者からの拠出からなる酪農乳業乳製品在庫調整特別対策事業の活用等により、徐々に適正在庫に近づいてきているとのことでした。今後の生乳需給についても、国内需要もまだ頭打ちではないと見ているが、海外にも目を向け、主に東南アジアに販路を求めチーズやLH牛乳での出荷を試みているとのことでした。しかしながら、牛乳パック販売は現地店頭価格がどうしても高くなってしまふことや、チーズについても直接食べる文化がないとのことなど、課題はあるものの「北海道ブランド」は各国で大変好評とのことから、道産乳製品を中心に積極的に販路を見出して行きたいとのことでした。一方、当役員側からは、「安心して生乳生産に専念出来るよう、一刻も早い需給の安定化と将来を見据えた取り組み、併せて精度の高い情報提供」についての意見・要望がなされました。



## 酪農女性研修会の開催

令和五年十二月四日（月）農協二階研修室にて、酪農女性向けの研修会が開催されました。

「初乳給与に関する研修会」と題し十勝農協や普及センターなどの関係機関を講師としてお招きし、地域内の酪農女性計八名が参加しました。

初乳の給与方法と内容によって、その後の疾病・死産事故の低減を図れる相関について説明いただき、

日頃の牧場の仕事の中で仔牛と関わる機会の多い参加者たち



研修会の様子



可愛い牛の「もふもふ石鹸」

にとつてとても有意義な研修となったのではないかと思います。

また、研修会終了後に手芸教室も実施し、大樹町の西川広子さんを講師としてお招きし、「思いやり石鹸（もふもふ石鹸）」を作成しました。

固形石鹸を羊毛で包み、石鹸として使用するだけでなく、飾って楽しむこともできるものとなっており、参加者は牛をモチーフにした石鹸を楽しみながら作っていました。

## 牛乳でウェルカム♪飲食店へ牛乳の提供を実施

J A 忠類酪農部会は、令和六年二月一日から令和六年二月末までの期間中に、忠類の飲食店や道の駅で、牛乳を「ウェルカムドリンク」として無償提供しました。

提供店舗は、「食堂このみ」「十勝ナウマン温泉ホテルアルコレストラン」「ピストロプラウン」「レストランケルン」「てっぱんさん」「森の音こ」「忠類道の駅」の計七店舗にて行われました。

ウェルカムドリンクの活動は

今年で四度目となっております、沢山の方々からご好評を頂きました。

今年度は、期間中に提供された牛乳（1L）の本数は約五〇六本となり、昨年度実施よりも短い期間ではありましたが、多くの方にご愛飲いただくことができました。

今後も、日本の酪農を守るために、牛乳・乳製品の消費拡大にご協力よろしく願います。



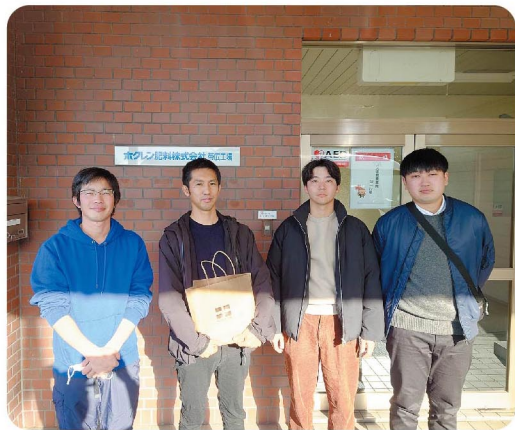
「食堂このみ」にて  
どのお料理にも相性ピッタリ



# JA忠類青年部管外視察研修

JA忠類青年部（部長渡邊貴文）は、令和五年十二月五〜六日に管外視察研修を実施しました。視察には計四名が参加し、「ホクレン肥料帯広工場」、「エスコンフィールドHOKKAIDO」と「クボタアグリフロント」を視察しました。

「ホクレン肥料帯広工場」では、営業推進課課長の宇佐美氏より事業所にて説明をいただき、合わせて工場見学も行いました。昭和四十一年より帯広工場は現在の芽室町に移転しました。令和四年度の生産実績は化成肥料55銘柄（20,942t）、BB肥料303銘柄（79,370t）



としており、令和五年度計画においては、化成肥料49銘柄（22,050t）うち十勝地区…約6,000t）、BB肥料274銘柄（76,850t）としてなっているとのこと。肥料価格高騰とコスト削減に伴う施肥管理の見直しによる製品需要に合わせたものとなっています。また、ロシア・ウクライナ情勢だけでなく、中国からの硫安の輸出制限の影響を受け肥料を取り巻く環境は厳しいものではありますが、「高品質な肥料を低コストで安定供給」を理念のもと、肥料コスト低減に向けて取り組

んでおります。工場見学では、化成肥料・BB肥料それぞれの製造工程を行い、視察をした十二月には、特にBB肥料をフレコンパックに詰める作業に多くの方が従事されています。参加した部員たちは自農場で生産している作物向けの肥料が入ったフレコンパックを見つけた際には、担当の方に質問をする姿が見られ、熱心に説明を聞いてました。

「エスコンフィールドHOKKAIDO」ではスタジアムツアー（プレミアム）に参加し、ファイターズガールの案内により球場内の見学をしました。通常非公開のホームチームエリア内のミーティングルームや選手のロッカールームには、ドリンクサーバーや照明・ステレオなどの設備も充実しており、選手が高いパ

「AGRI FRONTコース」のツアーに参加し、施設見学と「食と農業」における現状とその課題について資料と映像を用いて説明を受けました。中でもアグリテックのエリアにおいては、トマトやアスパラなどを室内にて栽培し、管理作業を無人機械で行っており、農業人口減少下におけるスマート農業の重要性を再認識させられる内容となっております。



フォーマンスができるよう工夫がされていきました。また、球場設備においては、スタジアム天井の開閉に三万円の電気代と二十分程度の短時間で済むという技術が施されており、本場アメリカにも引けを取らない球場であるとのことでした。

「クボタアグリフロント」では「AGRI FRONTコース」のツアーに参加し、施設見学と「食と農業」における現状とその課題について資料と映像を用いて説明を受けました。中でもアグリテックのエリアにおいては、トマトやアスパラなどを室内にて栽培し、管理作業を無人機械で行っており、農業人口減少下におけるスマート農業の重要性を再認識させられる内容となっております。



# 幕別、冬の陣。開催

令和五年十二月十六日（土）に北海道ホテルにて「幕別、冬の陣。」が開催されました。

幕別町内各団体間の交流により、町を支える担い手として成長をすることを目的に、JA幕別町・JAさつない・JA忠類・商工会の青年部員と若手職員、加えて役場職員の計122名が参加しました。

忠類からは青年部員五名と職員十二名が参加し、それぞれテーブルに分かれて他団体の方との交流を深めました。



忠類を代表して挨拶をする  
渡邊青年部長と登壇する参加部員

また、町の特産品を使用した料理もふるまわれ、忠類の特産品「ゆり根」の茶わん蒸しは大変好評でした。

終盤には抽選会も行われ、事前に配られた番号が発表されるたびに盛り上がる姿が見られました。



終了後に記念撮影

# JA YOUTH 青年部と農協若手職員との交流会開催

一月十九日（金）にホテルアルコにて「農協若手職員と青年部との交流会」が開催されました。



開会挨拶をする  
赤坂青年部副部長

職員と部員計十八名が参加し、円卓の料理を堪能しつつ、各種ゲームを実施しました。



eスポーツ大会の結果から代表して  
閉会挨拶をする青山職員

ゲームは「ババ抜き最弱王決定戦」と「チーム対抗eスポーツ大会」を行い、優勝チームには「森の音こ」のスイーツを贈呈し、最下位のチームには体に良いとされる「センブリ茶」を

飲んでもらうという企画も行われ、会場では終始盛り上がりを見せていました。



eスポーツ大会ではマリオカートを行い  
白熱した戦いを繰り広げていました



忠類ゆり根耕作組合 管外視察研修修

忠類ゆり根耕作組合（組合長 大坂崇士）は、令和六年二月七〜九日に関西方面への管外視察研修を実施しました。

市場視察では、「和歌山青果」「京都青果合同」「奈良大果」の三市場を視察しました。

各市場において担当の方と今後のゆり根の取扱いや、需給の現状だけでなくゆり根の優位販売に向けた意見交換を行いました。

また、実際の農作物の競りの様子も見学しました。

仲買人の方々は一箱ずつ丁寧に品質をチェックして値決めを行っており、改めて作物の高品質



和歌山青果にてさつまいもの競りを行っている様子

質出荷の重要性を実感いたしました。

「奈良大果」を視察した際に、合わせてJAならけんの直売所「まほろばキッチン」の店内視察をしました。

店内には奈良県内の農家から仕入れた新鮮野菜だけでなく、



まほろばキッチンの店内

県外から仕入れたものも豊富に陳列されていました。

商品の中には道内産の「ゆり根」も販売されており、発見した参加者は消費地である関西圏での販売形態や、出荷されてか



まほろばキッチンにて販売されていたゆり根

らどのくらい時間が経ったのかなど製品の観察もしていました。

ゆり根を使用した料理もいただきました。

京都にて江戸時代からの続く老舗「嵯峨豆腐 森嘉」の豊富にゆり根を使用した「ひろうす（がんもどき）」を購入し、懇親会にて参加者全員でいただきました。

特製生地の中にゆり根・銀杏



ゆり根入りのひろうす

をぎつしり詰めて揚げている為、ふんわりとした生地の中にホクホクした食感とほんのりとした甘みが広がり、ゆり根の食材としての長所が活かされています。

視察最終日には、三十三間堂へ行き、本年の豊作と安全を祈願しました。

国宝である千手観音坐像や風神・雷神の他、二十八部衆像が整然と並んでおり、それぞれ「富貴栄達」や「大漁」などのご利益をもたらす神としては意味が込められており、参加者は様々な思いを乗せて参拝を行いました。



視察参加者全員で三十三間堂にて記念撮影



# ピックアップ 農協職員 PICK UP!



【名前】

西川 聡 (にしかわ さとし)

【所属部署・担当】

経済部 燃料整備課 燃料担当

【入組年】

平成二十九年十一月

【趣味・特技】

ウォーキング・読書

【近況】

毎年、視力が落ちてきているので、眼鏡をかけるか検討中です。

【これからの夢や目標】

運動不足気味なので、定期的に運動をし健康的な生活を送りたいです。

【皆様へ一言】

給油所に配属になり今年で二年を迎えます。まだまだ至らぬ点多々あるとは思いますが、何事も積極的に業務に取り組み日々成長できるように努めていきます。今後とも宜しくお願いたします。



## なくそう食品ロス

### 野菜の食品ロスを減らす工夫

食品ロス問題ジャーナリスト ● 井出留美

家庭で最も捨てられる食品、野菜。買い方や保存方法の工夫で食品ロスを減らすことができます。

#### ■ 野菜の買い方

- 買い物前に冷蔵庫の野菜をチェックし、買い物メモを作る
- 日持ちしないニラやもやしはできるだけ使う直前に買う
- レタスやキャベツは2分の1個、4分の1個などを買う
- まとめ買いせず、1個単位で必要なだけ買う、など

後で腐らせて駄目にするくらいなら、多少割高でも、最初から使う分だけ買うのがお勧めです。

#### ■ 野菜の保存方法

冷蔵庫の野菜室を紙袋などで区分して、どこに何があるか分かりやすくしておきましょう。

野菜の中で特に日持ちしないのはもやしです。もやし生産者協会によ



れば、もやしを保存するのは野菜室より温度の低いチルド室や冷蔵庫がお薦めだそうです。買ってきたら袋に穴を開ける、あるいは電子レンジにかける、水を張った容器に入れるなど、ひと手間でもロスを減らせます。

#### ■ 干し野菜もお薦め

キュウリを斜め輪切りにしてざるに並べ、半干しにして酢やしょうゆ、ごま油のたれにもみ込むと、おいしい一品になります。エノキタケやシイタケ、ダイコンもお薦めです。

#### ■ 漬け物にしてみよう

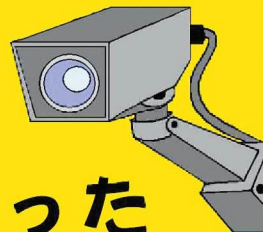
義母に教わった、ダイコンとセロリの漬け物を紹介します。

材料は、ダイコン1本、セロリ5、6本、ニンジン少々、昆布1枚、ショウガ適量、トウガラシ5、6本。調味料は砂糖175g、しょうゆ250ml、酢100ml。

全ての材料を袋に入れ、半日置けば食べられます。裂きイカを入れるとだしの代わりになります。ナガイモも同じ調味液で漬けられました。いろんな野菜で試してみましよう。



# 農家の皆様へ



農作物の盗難や農家を狙った  
空き巣、車上荒し、倉庫荒し等に  
ご注意ください！

**家、車、倉庫は**

# 確実に施錠を!!

## 【防犯上のポイント】

- ◎ 収穫物や作業道具（コンテナや脚立等）は、放置せずに持ち帰りましょう
- ◎ ビニールハウスや保管庫等の窓、出入口の施錠を徹底しましょう
- ◎ 柵、防犯カメラ、センサーライト等を設置したり、通行人から見える位置に「防犯カメラ作動中」等のステッカーや看板等を設置しましょう
- ◎ 不審者や不審車両を見かけた場合は、速やかに警察に通報しましょう

## 北海道警察公式防犯アプリ 「ほくとポリス」

◆防犯情報をお知らせします。



ほくとポリス

インストールはこちら！

ほくとポリス

App Store  
からダウンロード



で手に入れよう  
Google Play





# 第十二回 理事会

開催日 令和五年十二月二十六日

## 付議事項

議案第一号 組合員資格審査委員会の設置について

議案第二号 役員報酬審議会の設置について

議案第三号 幕別町忠類地域住民会議委員の選出について

議案第四号 出資金減口承認について

議案第五号 出資金の譲渡承認について

議案第六号 情報セキュリティ基本規程の一部改正について

議案第七号 令和六年度における営農貯金の払出し対応について

議案第八号 貸出金の条件緩和措置について

議案第九号 資金借入希望者の取扱い承認について

議案第十号 組合員勘定「年末残高精算」に伴う長期資金等借入希望取扱い承認について

議案第十一号 固定資産導入に伴う仮契約（コントラクター事業）について

議案第十二号 農産物生産動向および生乳生産状況について

議案第十三号 コントラクター事業・直売所事業の経過報告について

議案第十四号 営農懇談会意見集約について

議案第十五号 令和六年度JA別生乳生産目標数量設定について

議案第十六号 令和四年産農産物共同計算の最終精算報告について

議案第十七号 整備未収金の取扱いについて

議案第十八号 営農中止者の債権回収について

議案第十九号 役員推薦会議委員の報告について

## 報告事項

一、農産物生産動向および生乳生産状況について

二、コントラクター事業・直売所事業の経過報告について

三、営農懇談会意見集約について

四、令和六年度JA別生乳生産目標数量設定について

五、令和四年産農産物共同計算の最終精算報告について

六、整備未収金の取扱いについて

七、営農中止者の債権回収について

八、役員推薦会議委員の報告について

九、組合員異動報告について

十、第三四半期余裕金の運用状況について

十一、理事と組合の間における「利益相反取引」に伴う結果報告について

十二、コンプライアンス事故報告について

十三、監査代替的調査に係る監査結果について

十四、内部監査結果について

十五、第三四半期監事監査結果について

組合員勘定貸越極度額並びに組合員勘定資金供給限度額の承認について

固定資産の取得（リース）について

農産物・生乳生産状況および組合員勘定集計について

組合員勘定清算実績について

定款第五十一条九項に規定する信用供与等債務者の経営状況について

離農休農者の債務返済状況等について

農事組合長の決定について

内部監査結果について

辞令の発令について

農地保有合理化事業実施に伴う確約書の締結について

特定組合員に対する

# 第十三回 理事会

開催日 令和六年一月二十四日

## 付議事項

議案第一号 出資金の減口承認について

議案第二号 農地保有合理化事業実施に伴う確約書の締結について

議案第三号 特定組合員に対する

組合員勘定貸越極度額並びに組合員勘定資金供給限度額の承認について

固定資産の取得（リース）について

農産物・生乳生産状況および組合員勘定集計について

組合員勘定清算実績について

定款第五十一条九項に規定する信用供与等債務者の経営状況について

## 第十四回 理事会

開催日 令和六年二月十五日

### 付議事項

議案第一号 内部監査計画書の

策定について

議案第二号 経営定期点検実施

計画書の策定について

議案第三号 出資金の譲渡承認

について

議案第四号 準職員就業規則の

一部改正について

議案第五号 「組合員・利用者

本位の業務運営」

議案第六号 営農計画書の取引

要件の徹底について

議案第七号 信用限度額超過等

の組合員に対する組合員勘

定貸越極度額並びに組合員

勘定資金供給限度額の承認

について

議案第八号 理事に対する組合

員勘定貸越極度額並びに資

金供給限度額の承認につい

て

議案第九号 特定組合員の選定

について

議案第十号 期末手当の支給に

ついて

### 報告事項

一、生乳生産状況について

二、営農計画書総合集計結果に

ついて

三、新規投資集計結果について

四、組合員資格審査委員会の答

申について

五、役員報酬審議会の答申につ

いて

六、固定資産の処分について

七、コンプライアンス事故報告

について

八、令和五年度 経営監査報告

について

九、内部監査結果について

十、決算見直しについて

### 退職者

営農部生産販売課畜産担当

(検定員)

佐藤 真治

(十二月三十一日付退職)

営農部生産販売課畜産担当

友西 このみ

(二月三十一日付退職)

お世話になりました。



支出		令和5営農年度実績			令和4~5年度差額			(単位：千円)
項目	年別	R5実績	R4実績	前年比	前年差額	R5計画	進捗	(差異要因)
50	労賃	903,715	897,776	100%	(+5,940)	874,776	103%	
51	肥料費	455,169	299,766	151%	(+155,403)	432,726	105%	価格高騰↑
52	種苗費	100,708	93,205	108%	(+7,503)	90,982	111%	価格高騰↑
53	農薬費	81,503	72,358	112%	(+9,145)	75,669	108%	価格高騰↑
54	飼料費	5,772,404	5,917,708	97%	(△145,304)	5,804,297	99%	価格↑/生産↓
	△TMRC	(3,956,207)	(3,966,573)	(100%)	(△10,366)	-	-	
55	養畜費	930,172	975,780	95%	(△45,609)	880,661	106%	預託↓
56	素畜費	11,440	11,090	103%	(+350)	11,600	99%	
57	生産資材費	141,116	138,459	101%	(+2,657)	132,428	107%	
58	農業共済掛金	210,420	207,960	101%	(+2,460)	213,116	99%	
59	賃料料金	1,529,399	1,529,220	100%	(+179)	1,437,018	106%	
61	修理費	411,547	354,385	116%	(+57,163)	312,268	132%	工賃・部品↑
62	水道光熱費	297,386	293,041	101%	(+4,345)	323,110	92%	
63	営農車両費	304,613	309,924	98%	(△5,311)	297,796	102%	
64	支払利息	57,478	64,731	88%	(△7,253)	64,667	89%	
65	租税公課	121,999	140,866	86%	(△18,867)	128,268	95%	
66	諸負担金	80,294	80,041	100%	(+253)	80,680	100%	
67	その他経営費	234,507	253,530	92%	(△19,022)	213,712	110%	経費節減↓
	<b>農業支出</b>	<b>11,643,871</b>	<b>11,639,840</b>	<b>100%</b>	<b>(+4,032)</b>	<b>11,373,774</b>	<b>102%</b>	
	△TMRC農業支出	(9,147,793)	(9,082,695)	(101%)	(+65,098)	-	-	
70	農外支出	4	0	0%	(+4)	10	42%	
71	家計費	189,082	203,404	92%	(△14,323)	186,268	102%	
80	貯金共済掛金	375,860	369,393	101%	(+6,467)	314,054	120%	
81	借入金返済	848,504	890,964	95%	(△42,460)	794,943	107%	
82	資産取得	237,594	175,715	135%	(+61,878)	145,071	164%	
83	その他資産	92,999	0	-	(+92,999)	0	-	
	<b>支出計</b>	<b>13,387,913</b>	<b>13,279,316</b>	<b>101%</b>	<b>(+108,596)</b>	<b>12,814,120</b>	<b>104%</b>	
	△TMRC農業支出	(10,772,824)	(10,633,663)	(101%)	(+139,160)	-	-	

預り件数	69件	73件	95%	(△4件)	<p>経費全般が増加傾向のなか肥料価格が高騰、経営形態を問わず期中の資金繰りや経営収支に大きく影響した。</p> <p>乳価改定や諸対策による一定の増収効果はあったものの、非常に厳しい経営環境となった。令和6年営農度における制度の高い計画策定とこれに基づく適正なフミカン運用をお願いいたします。</p>
預り額	379,468	396,615	96%	(△17,147)	
貸越件数	0件	0件		(+0件)	
貸越額	0	0		(+0)	
差引	+379,468	+396,615		(△17,147)	

# 令和5営農年度 クミカン実績

令和5年1月1日～令和5年12月31日

収入		令和5営農年度実績			令和4～5年度差額			(単位：千円)
項目	年別	R5実績	R4実績	前年比	前年差額	R5計画	進捗	(差異要因)
01	麦	26,507	23,042	115%	(+3,465)	19,760	134%	
02	豆類・雑穀	57,158	39,452	144%	(+17,706)	59,190	97%	大豆↑小豆↑
03	馬鈴薯	96,257	79,068	121%	(+17,189)	76,370	126%	加工↑
04	てん菜	53,405	58,081	91%	(△4,676)	46,710	114%	
05	青果・そ菜	233,101	194,538	119%	(+38,563)	224,970	104%	ゆり根↑
06	その他農産物	68,818	71,123	96%	(△2,305)	67,962	101%	
07	過年度産農産物	140,241	150,362	93%	(△10,121)	110,965	126%	
<b>農産収入</b>		<b>675,486</b>	<b>615,666</b>	<b>110%</b>	<b>(+59,821)</b>	<b>605,927</b>	<b>111%</b>	
10	生乳	6,967,379	6,977,570	99%	(△10,191)	6,726,316	104%	乳価↑/生産↓
11	乳用牛	491,680	490,410	100%	(+1,270)	438,640	112%	市場↓/頭数↑
12	肉用牛	148,419	172,367	86%	(△23,948)	170,100	87%	市場↓
13	TMR受入飼料	2,357,405	2,484,057	94%	(△126,652)	2,726,000	86%	価格↑/生産↓
14	鶏・卵	0	0	0%	(+0)	0	-	
15	その他畜産	1,146	988	116%	(+158)	760	151%	
<b>畜産収入</b>		<b>9,966,029</b>	<b>10,125,392</b>	<b>98%</b>	<b>(△159,363)</b>	<b>10,061,816</b>	<b>99%</b>	
△TMR受入飼料		(7,608,624)	(7,641,334)	(100%)	(△32,711)	(7,335,816)	(104%)	
20	受入共済金	260,728	297,102	87%	(△36,375)	237,862	110%	
21	受入補助金奨励金	589,133	444,233	132%	(+144,900)	563,557	105%	各種諸対策↑
22	受入賃貸料	71,478	93,082	76%	(△21,604)	77,814	92%	
23	農業雑収入	273,544	315,888	86%	(△42,343)	172,933	158%	
<b>農業収入</b>		<b>11,836,398</b>	<b>11,891,362</b>	<b>100%</b>	<b>(△54,965)</b>	<b>11,719,909</b>	<b>101%</b>	
△TMR受入飼料		(9,478,992)	(9,407,305)	(101%)	(+71,687)	(8,993,909)	(105%)	
30	農外収入	102,639	2,602	3943%	(+100,037)	29,362	350%	農地売却
40	資金借入	453,070	910,957	49%	(△457,887)	95,060	477%	SN資金
41	資金受入	1,351,227	843,055	160%	(+508,172)	818,505	165%	繰越↑/貯金↑
42	その他負債・資本	24,047	27,955	86%	(△3,908)	17,515	137%	
<b>収入計</b>		<b>13,767,381</b>	<b>13,675,932</b>	<b>101%</b>	<b>(+91,449)</b>	<b>12,680,351</b>	<b>109%</b>	
△TMR受入飼料		(11,409,975)	(11,191,874)	(102%)	(+218,101)	(9,954,351)	(115%)	
<b>生乳生産量</b>		<b>63,486t</b>	<b>68,722t</b>	<b>92%</b>	<b>(△5,236t)</b>	<b>62,100t</b>	<b>102%</b>	<b>生産抑制↓</b>
(組勘取引)		(61,698t)	(66,975t)	(92%)	(△5,277t)	(60,690t)	(102%)	
<b>乳代単価</b>		<b>111.8円</b>	<b>104.2円</b>	<b>107%</b>	<b>7.6円</b>	<b>110.8円</b>	<b>101%</b>	<b>価格改定↑</b>
(控除後)		102.5円	95.1円	(108%)	7.4円	(R5.4) 加工向+10円		(R5.8) 飲用向+10円
		+192,526	+251,523		(△58,996)	+346,135	56%	農業収入 -農業支出



# 市場で評価される和牛子牛づくり

十勝農業改良普及センター十勝南部支所

昨年5月以降、和牛子牛価格が低迷しています。低調な枝肉消費、飼料や資材価格の高騰などの要因が重なり、肥育農家の導入意欲は依然として低いままです。

そのような状況でも市場で評価される牛づくりのためには、より高い増体が求められます。市場ではDGや腹囲が大きく、かつ体高が高い牛が、評価されています。具体的には、十勝和牛マニユアル牛の標準値と比較し、体重は約15%増加、体高は約4%増加、腹囲は190cm以上が目安になります。

## 1 哺育期の骨格作り

図1に和牛子牛の体高発育パターンを示しました。和牛の体高はその大半が出生後3〜4か月で決まります。とりわけ哺乳期（出生〜約4か月齢）に骨格形成のため蛋白質（CP）を十分給与することは極めて重要です。

近年は哺育期のCP充足を重視し、前提条件を整えた上で高栄養哺乳プログラムを採用する農場が増えています。導入にあたっては、除糞頻度を確保し常に乾燥した牛床を維持すること。敷料をたっぷり投入し、環境からのエネルギーロスを低減することがあります。また高栄養哺乳プログラム

では、哺育後期に急激にスターターを多量摂取させるため、ルーメンの健康維持を目的に水や乾草を自由摂取できるようにしておく必要があります。加えて、哺乳器具をアルカリ洗剤や酸性洗剤、殺菌剤を使用して完璧に洗浄・殺菌することも重要です。

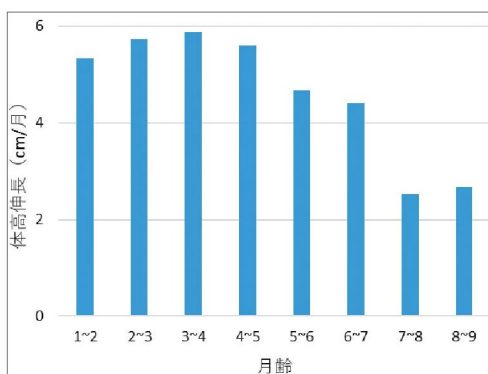


図1 体高の発育パターン（去勢27頭、雌28頭）  
（2013,肉牛大辞典）

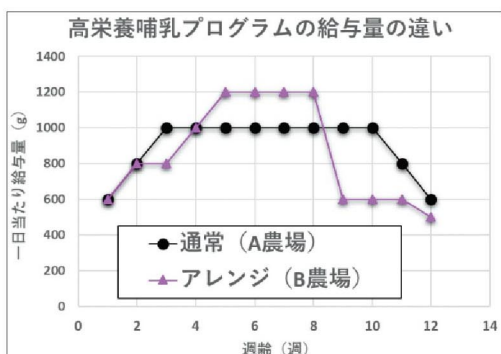


図2 高栄養哺乳プログラムの給与量  
（CP28のミルクを使用）

## 2 高栄養哺乳プログラムをアレンジする

これらの前提条件を整え、高栄養哺乳プログラムをアレンジすることで子牛の増体を飛躍的に増加できます（図2）。

この方法では、体高発育のピーク付近で一日あたり最大1200gのミルクを給餌します。その後、通常よりも早めにミルクを減らし、その分、スターターを飽食させることでCPを充足させます。離乳時まで2.5〜3.0kg/日のスターターを食べられるようにすることが目標です。ミルクの総給与量は、通常より一頭あたり約3.5kgも少なくなります。

通常の高栄養哺乳を行うA農場と、アレンジを加えたB農場で発育状態の比較をおこないました（図2）。明らかに体重と体高がA農場よりB農場で大きくなっています。また肋張りを示す腹囲もB農場は大きくなりました。このことは日本飼養標準肉用牛（2022）のCP要求量に対するミルクからのCP供給量からも分かります（表1）。B農場では、スターターを十分食べられない哺乳前期にほとんどミルクからのCPで確実にその要求量を満たすことができました。

表1 CPの要求量とミルクからの供給量

週齢	目標体重(kg)	代用乳からの1日あたりのCP量(g)		
		要求量	通常	アレンジ
1	33	140	168	168
2	36	214	224	224
3	41	292	280	224
4	48	259	280	280
5	54	308	280	336
6	60	311	280	336
7	66	268	280	336
8	71	317	280	336
9	77	331	280	168
10	83	378	280	168
11	90	338	224	168
12	96	294	168	140
ミルクの総給与量(kg/頭)			75.6	72.1

※赤字は要求量より上回って供給しているCP量

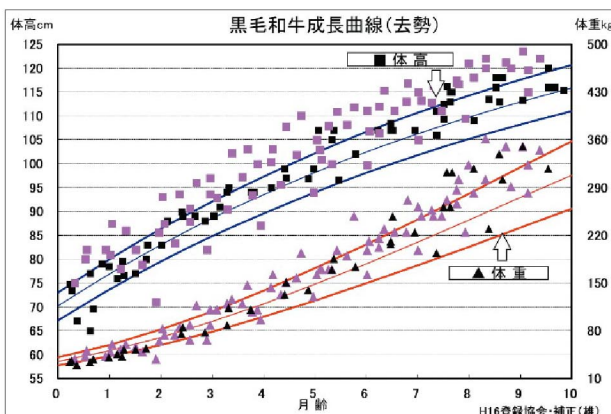
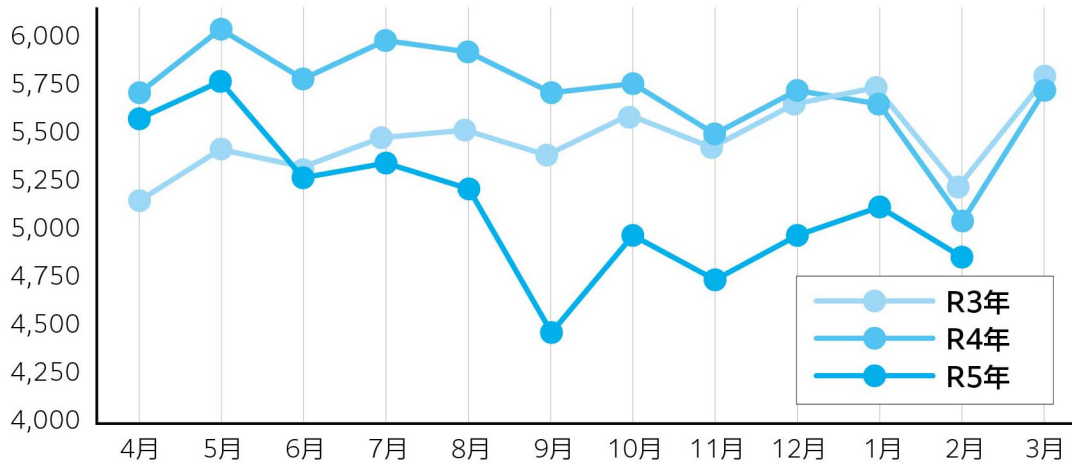


図3 発育状態の比較（A農場：黒、B農場：ピンク）

高栄養哺乳のアレンジで増体が改善できる場合があります。ご質問があれば、お気軽に普及センター、JAまでご相談ください。

# 生乳生産状況表



## ホクレン十勝家畜市場だより



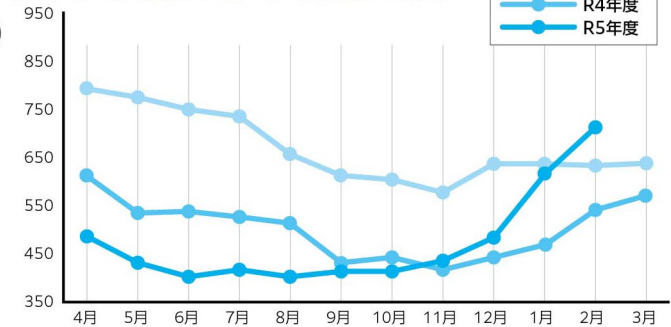
### 乳牛

- 売買頭数 : 884頭 (成立91.7%)
- 平均価格 (税込) : 715千円 (先月比↑99、前年比↑171)

#### 相場予想

3月について、春産み分娩中心の出回りに加え、昨年の猛暑の影響から都府県で春産み資源が不足していることから、需要は引き続き伸びることが予測されるため、相場は強含みで推移することが予想される。

乳牛市場〈初妊牛〉平均価格の推移



### 黒毛和種・F1

#### 結果速報

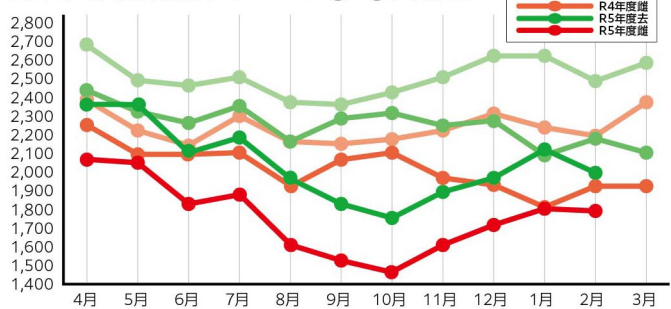
##### ● 売買頭数

- 黒毛和種去勢 1,118頭 (成立88.4%)
- 乳用交雑種去勢 1,466頭 (成立96.4%)
- 黒毛和種雌 867頭 (成立90.3%)
- 乳用交雑種雌 1,313頭 (成立96.8%)

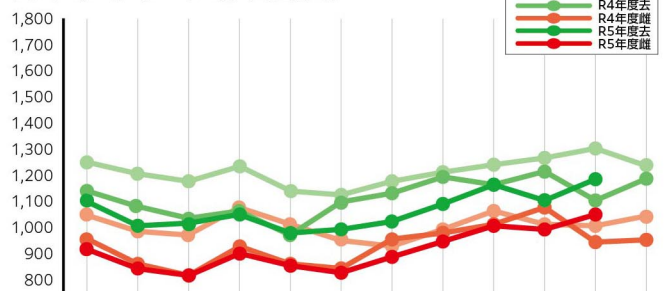
##### ● kg単価

- 黒毛和種去勢 1,998円 (先月比 ↓127)
- 乳用交雑種去勢 1,189円 (先月比 ↑82)
- 黒毛和種雌 1,787円 (先月比 ↓6)
- 乳用交雑種雌 1,047円 (先月比 ↑52)

肉牛市場〈黒毛和種251-300kg〉kg単価推移



肉牛市場〈F1〉kg単価推移



# サケ 魚とえのきだけのミルクライス



- 材料
- ・ お米 2合
  - ・ 塩魚 1切れ
  - ・ えのきだけ 200g
  - ・ 塩 少々
  - ・ 牛乳 200ml
  - ・ 水 170-200ml
  - ・ 顆粒コンソメ 小さじ2
  - ・ スキムミルク 大さじ2

カリッとしたっさり!  
マイルドな味わいです!

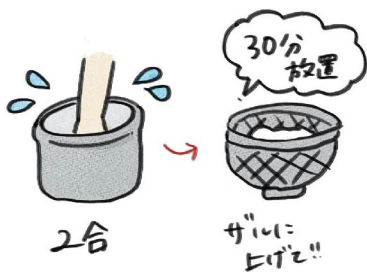
ひとくふうアレンジ

えのきの種類でもOK!!

魚のかわりに、ビーフタンなどもおいしそう! ニンジンの野菜も◎



1 米は洗ってザルにあげておく(30分以上)



2 牛乳に水の半量(80mlくらい)を加え、顆粒コンソメ、スキムミルク、塩を加えよく混ぜておく。



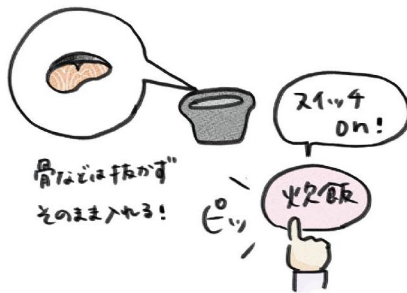
3 炊飯器に米を入れ、②を入れて、のりの水で炊飯器の2合分の水になるように調節する。



4 えのきだけの根本を2~3cmおとし、のりを半分の長さに切り、米の上にはらして置く。



5 ④の上に切り身の魚をのせて、炊飯器のスイッチを入れる。



6 炊けたら、魚から皮と骨を取りのぞく。皮は1cmくらいに切って戻し、全身をよく混ぜ合わせる。

